「学びの履歴」

主幹教諭 安達雅美

笑顔で登校する子供たちは皆、一様にひんやりした空気をまとい、その頬や手をそっと温める先生の姿に、冬の訪れを感じています。

今月は、若手教師とともに、肢体不自由教育研究大会の全道大会でポスター発表をし、また全国大会にも参加してきました。新しい学習指導要領をもとに各学校が授業づくりに磨きをかけるプレゼンテーションに、背中がすっと伸びるような心地よい緊張感を得る貴重な機会となりました。

もちろん本校でも授業づくりに邁進中です。そのひとつに「学びの履歴」があります。全道大会で発表したのですが、私たち教師は、ともすると今の生徒の姿にだけ目を向け、これからの姿を描きがちです。しかしながら、今の姿は、これまでの学びが積み重なったものであり、改めてその子の歩みを振り返ることに注目することが大切です。その上で、子供たちの願いや希望を軸に、保護者の皆様との懇談から聞き取らせて頂いたこと、専門性のある教職員からの見立て、そして教師の願いを織り交ぜ、チーム真駒内として、ひとりひとりに応じた目標設定をめざし全校で取り組んでいます。

担任が換わった際には、引継ぎが行われますが、前担任、更にその前の担任へと広げることで、指導の方向性が明確になったとの意見が聞かれます。

今後は、担当した教師がどのように目標設定をしたのかという足跡を確実に次に渡せるように内容の工夫を図っていきたいと考えています。

授業は、チームでつくるものです。校内はもちろんのこと、保護者の皆様、事業所や地域とも手を携えながら、生徒ひとりひとりが輝くように本校の授業づくりを充実させていきたいと考えますのでよろしくお願い申し上げます。